

20230801Chatlog

米田 美香子:	こんばんは👍
CULTIBASE:	米田さんこんばんは！ご参加いただきありがとうございます！
CULTIBASE:	まもなく20時より開催となります！チャット等は自由となっておりますので、宛先を「全員」に変更の上、お気軽にコメントをお寄せくださいませ！
CULTIBASE:	また、SNSでのハッシュタグは #CULTIBASELab です。こちらも感想・コメントなどお気軽にお寄せください！^^
和美 野口:	こんばんは！
米田 美香子:	雷雨🌩️でしたね
知代 知代:	こんばんは！久しぶりのリアルタイム参加、どうぞよろしくお願いします！
和美 野口:	土砂降りでした。
知代 知代:	高知は快晴!! 猛暑でした。
小田裕和:	みなさん熱中症気を付けてくださいね…！
和美 野口:	神回 of 神回でした！
和美 野口:	いろんなキーワードを自分なりに「DIG」したくなります笑
KYOKO KOKUSHO:	がんばれー
CULTIBASE:	※各種関連コンテンツについては、イベント後のメールにて共有いたします
CULTIBASE:	Q. 同僚や上司から盗みたいと思った知を教えてください ※宛先を「全員」に変更の上、チャットにてお気軽にお寄せください。
ヨシダ アヤカ:	論理的に話す力！
聡子 酒井:	懐に入るのがうまい、可愛がられ力
知代 知代:	クレーム対応でしょうか
和美 野口:	周囲を巻き込むチカラですかね。
佐藤 一司:	質問力
KYOKO KOKUSHO:	一言でアイスブレイクできる力
Takuto Mori:	巻き込み力
将生 森田:	「人たらし力」です。ロジックがイマイチでも「あなたのためならやってあげよう」と思ってもらえるのは羨ましいです
加藤 恵美子:	プレゼン力
KYOKO KOKUSHO:	コミュニケーション系ばかりですねー
Hayahiko Okugawa:	プロマネスキルですかねー
ケイシ マツモト:	人の言葉や行動から心情を読む力
小田裕和:	僕はすぐにスポーツ選手で考えがちですが、イチローとか大谷さんとかは、ものすごい暗黙知を抱えていそう
RYOTA FUJINO:	暗黙知を形式知にするにあたり、それが本当に形式知として落とし切れているのかというのを判断できる人が暗黙知を持っている人しかいないしなあ・・・
masaki nakamura:	スポーツのデータ化による形式知化はすごく進化していると思う。昔で言う球のキレは球の回転数だって説明されているし、重さは回転軸のブレだったりする。
RYOTA FUJINO:	NECの顔認識は目、鼻、口の距離を測って個人を識別しているそうですね
masaki nakamura:	パターン認識の話ですよね。暗黙知というより。
知代 知代:	(描ける)
KYOKO KOKUSHO:	なるほど！
知代 知代:	(まゆ毛と目は特徴的w)
CULTIBASE:	【アナウンス】 CULTIBASEでは、ハッシュタグ #CULTIBASELab にて各種情報を発信中です。皆さまからも、感想・コメントなどぜひお気軽にお寄せください！
CULTIBASE:	▼ナレッジマネジメント入門：知が循環する組織をつくる https://www.cultibase.jp/videos/13227
将生 森田:	野球メタファーだと大谷選手のスーパーの握り、投げ方を教わっても、大谷選手しか投げられないということですかね。でもマシンで回転数や回転軸を再現すれば投げられそうなので形式知なのでしょうかね・・・
Hayahiko Okugawa:	身体知がカギになりそう
小田裕和:	森田さんの問い面白いですね！Okugawaさんの言う通り、身体知が結構関係してくるんですね・・・
瑞穂 大屋:	簡単に形式知化できていたら苦労はしてないですね。
RYOTA FUJINO:	知識を共有すること、形式知にすること自体を評価するようにしないといけないですね・・・
瑞穂 大屋:	これが属人化の始まり...
RYOTA FUJINO:	知識の抱え込み 問題・・・
KYOKO KOKUSHO:	価値があるものは簡単には「横展開」できないから価値が高いんです！
知代 知代:	これ、わかる
KYOKO KOKUSHO:	わかるうーー
RYOTA FUJINO:	わかりみ・・・「伝わらねえ・・・」ってなるやつ
kazuhiro onishi:	めっちゃわかりますねえ...
瑞穂 大屋:	単純化と受けとめられるのは、これは繊細な問題...わかる気もします。
Hayahiko Okugawa:	むっちゃおもしろい
masaki nakamura:	コーチングだってAI化される時代なのでデータ化すれば形式知化はされる。言語化じゃなくてデータ化が重要。
Hayahiko Okugawa:	微分しちゃう感じ
RYOTA FUJINO:	微分・・・いい例え！
KYOKO KOKUSHO:	匠の技をマニュアルにできるか！とか、これはアートだから！って言いたくなるやつ
RYOTA FUJINO:	企業で働く身としては形式知化した上で、他社には真似できないという暗黙知的な形式知（何言ってるんだ・・・）を作るのが理想なんだよな・・・
瑞穂 大屋:	代替不能な存在って、超承認欲求が満たされるんですね。難しい。
RYOTA FUJINO:	暗黙知と形式知ってゼロかイチかなんだらうか？
聡子 酒井:	瀬祭のお酒の作り方が脱職人化しているのを連想しました。
masaki nakamura:	このあたりって熟練の旋盤工の能力がNC旋盤に置き換えられていったあたりから変わっていないよね。
眞之介 広瀬:	形式知化したところで、伝授可能な状態になっていないものはよく見るなあ。
将生 森田:	人間が理解できる範囲を超えてしまうと次元を圧縮する必要がありますよね。形式知にできない暗黙知は情報量を減らして完全な再現をあきらめれば形式知にできるのかもと思いました。
眞之介 広瀬:	暗黙知を表出しておかないと評価できる人もいなくなって、結果的にその個人にとってもデメリットになるケースも拝見します。
聡子 酒井:	暗黙知的な形式知。例えばリッツ・カールトンの企業文化とか？
眞之介 広瀬:	「名付けられない」と、当人も扱えない可能性あり。
亮 駒井:	技によるアウトプットは形式知化できそうですが、技が発揮されるプロセスを形式知化するのが難しいなと感じています。
和美 野口:	言語化することで、自分自身の気付きや学びもありますよね。
masaki nakamura:	暗黙知の先を探究していることが大事だと思う。データ化は師匠を超えられないので。
眞之介 広瀬:	暗黙知を言語や数式ではなく、体験で伝授しているところが実際は多そう。OJT
聡子 酒井:	ここでも保留力が大事ですね
KYOKO KOKUSHO:	エゴやプライドを全部捨てたらどうなるのかな
和美 野口:	野中先生の仰る「知的コンバット」が重要なんだろうなと思いました。
Hayahiko Okugawa:	暗黙知は個人の特性とも紐づいていそうですね
浩幸 土屋:	今の時代、囲い込むとすぐに陳腐化して置いていかれますよね。
KYOKO KOKUSHO:	もうこのメンバーで飲み会やりたい
浩幸 土屋:	野中先生は実践的で、難しいけれどもチャレンジし続けようという視点もあるかと。
RYOTA FUJINO:	身長180cmの人と、身長160cmの人で見えている世界が違うので、得られる暗黙知も違うし、理解しうる形式知も違う。結果として、出来る上がる知x知の掛け合わせも違うものになるから面白いんですよね>個人の特性
佐藤 一司:	早稲田の入山教授は、暗黙知が表出化すると「新しい言葉」が生まれると述べていて、知識が創造されると、共有された組織において新しい解釈が生まれ、自然と言語化されるからだろうと思います。そして、その活動の精度を意識的に上げていくことが、組織を強くすると思っていて、僕は組織の中の探究心こそが活動のエネルギーになるだと考えています。
RYOTA FUJINO:	佐藤さんのコメント、めっちゃ共感です
眞之介 広瀬:	「ノウハウ」と「個人の特性、個別性」の相性は、難しいノウハウであればあるほど、影響強いと感じます。
佐藤 一司:	西村さんがおっしゃっていた知識創造と組織デザインのフィットの難しさには共感します！
	同モデルや、軍事的世界観と冒険的世界観などについてはこちらのアーカイブをご覧ください
CULTIBASE:	▼ヒトと組織に強い経営人材になるための『新時代の組織づくり』 https://www.cultibase.jp/videos/14154
KYOKO KOKUSHO:	なるほど！
眞之介 広瀬:	再現性を高めるか/新たな探究を増やすか？

瑞穂 大屋:	あー、なるほど、再現性！
kazuhiro onishi:	土台が積み上がる感じになるんですね
浩幸 土屋:	野中先生はどちら側でしょう？軍事的が強そう
masaki nakamura:	冒険的世界観の暗黙知の形式知化は新たな知の探求への冒険なのかな
浩幸 土屋:	わかります！
瑞穂 大屋:	製造業は軍事的世界観にとらわれがちに思います…
KYOKO KOKUSHO:	これぞ知的コンバット、かも
和美 野口:	小田さんの言語化力、形式知化してください笑
佐藤 一司:	知識の探究と共有をするためには、職場デザインにおいて、情報経路が少ない自律的な小さなチームを起点にすることが重要だと考えています。小さなチームで生まれた新しい知識を、チームを超えて共有していく仕組み作りを、まさに自組織内で模索しています
Mike Sato:	科学研究はどちらも包含してそうですね。それぞれの再現性があることが前提であり、先行研究があるからその先の研究ができるという発展をしているように感じます。IPS細胞の山中先生もどこかで「自分はたまたま最後の一枚を剥いただけ」といったニュアンスのことをおっしゃっていた気がします。
小田裕和:	https://workmill.jp/jp/webzine/questions-miyano-oda-20230330/
Hayahiko Okugawa:	身体的な知性は絶対必要なんだろうなと思います
KYOKO KOKUSHO:	マニアック
亮 駒井:	
佐藤 一司:	8888888888
瑞穂 大屋:	身体性はめっちゃ興味あります。身体なしでの知性は人間には考えられないですし。
眞之介 広瀬:	88888
和美 野口:	お疲れ様でした！
Hayahiko Okugawa:	ありがとうございました！
瑞穂 大屋:	8888888888
浩幸 土屋:	ありがとうございました！
KYOKO KOKUSHO:	88888888888888888888
知代 知代:	ありがとうございました！
kazuhiro onishi:	ありがとうございました！
CULTIBASE:	本日のイベントは終了いたしました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！